

千秋町連区

地域づくり協議会 準備委員会だより

※ 発行者 千秋町連区地域づくり協議会準備委員会
一宮市千秋町佐野字郷前2762番地(千秋町出張所内)電話28-9010

千秋町連区地域づくり協議会 設立総会開催決定

10月25日に開催された準備委員会において、設立に向けた大筋の合意が得られ、各種団体の協力を求めながら12月16日(木)19時から設立総会を開催する旨決定した。(千秋公民館)

「観劇会」

(文化庁による
舞台芸術体験事業)

10月26日(火)千秋東小学校屋内運動場において、「観劇会」が行われました。これは、文化庁の「子どものための優れた舞台芸術体験事業」によるもので、開校三十年目を迎える今年度、記念行事にと応募したところ、本校が実施校に選ばれました。

6年生児童は、事前にジャグリングやパントマイムを体験し、劇の一部に参加しまし



た。全校児童と保護者が見守る中、緊張しながらもプロの方と一緒に演技できたことは、忘れられない思い出となりました。

「ふれあいコンサート」

11月6日(土)、千秋南小学校PTA主催の学校外活動「ふれあいコンサート」を開催しました。130人を超える子どもや保護者の皆様の参加がありました。「スターウォーズセレクション」「龍馬伝」など素晴らしい音に感激しました。



楽器紹介では、一つ一つの楽器の音色に「やさしい音だなあ」「これは何かの音に似ているな」などいろいろな感想を持ちました。また、「天国と地獄」の演奏では、指揮者体験もしました。指揮者の一ふりで音色やテンポまで変わってしまいびっくりしました。後半は「会いたかった」「ハピネス」などみんなの知っている曲の演奏に合わせて口ずさむ子どもたくさんいました。また、機会があったら聞きたいなあと言つ声も多く聞きました。

犯罪にあわない 犯罪を起こさせない 犯罪を見逃さない

年末の安全なまちづくり県民運動

12月1日(水)から12月20日(月)までの20日間

- 運動の重点 ○ 住宅・店舗等を対象とした侵入犯罪の防止
- ひったくり等街頭で発生する犯罪の防止
- 子どもと女性が被害者となる事件・事故の防止



広めよう交通安全スリーSエス運動

年末の交通安全運動

12月1日(水)から12月20日(月)まで

県内一斉交通大監視は12月6日(月)



- ◎ 飲酒運転を根絶しよう
- ◎ 高齢者を交通事故から守ろう

平成22年 防災訓練

バケツリレーで消火活動に励む！



訓練のために集合した各防災会

安全で安心して暮らせる災害のないまちづくりを目指して毎年開催されている千秋町連区防災訓練が、千秋町連区自主防災会連絡協議会・一宮市社会福祉協議会千秋支会の主催で今年も10月31日(日)午前9時から千秋中学校運動場において開催された。

各町内自主防災会・連区婦人消防クラブ連絡協議会から

約450人が参加し、千秋消防出張所・千秋北分団・同千秋南分団の指導の下に行われた。

訓練は6種目。全員が常に

訓練に参加できるようローテーション形式を採用。明日起こるかもしれない災害を意識しながら、それに備えた訓練を熱心に行い、防災対策の必要性と協働性を再認識した。



煙道体験をする参加者

◎ 各種訓練

○ 避難訓練(煙道体験)

地震のみならず、洪水、近所の家で起こった火災の延焼、工場の大規模火災と爆発など、様々な場面で避難誘導の必要性が考えられる。

前もって避難勧告が出た場合は、火事が出ないようブレーカーを落とすこと、ガスの元栓を閉めることを呼びかけながら、高齢者などの避難介助の準備の必要もある。

今回は、地震の二次災害として一番起こりうる可能性のある火事を想定し、煙道体験による避難訓練を行った。

○ 避難所資器材取扱訓練

大規模な地震災害が発生した場合、膨大な数の被災者に対する迅速な救援救護策の実施が必要となってくる。

中でも、自宅での生活ができなくなった住民に対しては



仮設トイレを組み立てる参加者

速やかに避難所を開設して収容する必要がある。

しかし、大規模な地震災害時には、避難者自身による自主的な取組が、円滑な避難所の運営を行うためには必要となる。

今回は、資器材の中で仮設トイレ、折りたたみ式リヤカー、折りたたみ式担架の組み立てを行った。

○ 炊き出し訓練

大規模災害発生時には、断水・流通機能停止等、水・食料の入手が難しくなり、行政



炊き出し訓練で赤飯を温めている参加者

等も被災者の救出・救護といった一刻を争う仕事に忙殺され、住民の生活の維持に関するしくみを一気に立ち上げることは難しい。

そこで、最低でも3日間、地域で協力し合いながら給水・食事の確保に対処する必要がある。

個々の家庭単位、自主防災組織単位で、一定の備蓄を進めたり、地域内の資源を活用した食料の調達ルートを確認しておくことも重要である。



9班に分かれて応急救護訓練を行う参加者

また、大なべや釜など、家庭とは違う器具の使用・調理方法について、十分に訓練しておく必要がある。

今回は、家庭とは違う調理器具に視点を向け、「はそり」を使った訓練を行った。

○ 応急救護訓練

災害時はもちろん、普段の暮らしの中でも私たちは、突如のけがや病気に襲われる可能性をいつも抱えている。このような場合、救急車が到着するまでの数分間の対応の有無が非常に重要になる。

さらに大規模災害時には、道路が寸断され、各地で多数の負傷者が出るため、素早い医療機関の応援を期待することができなくなる。

いざという時に、医療機関の手当を受けることができるまでの間、家庭・地域や職場で、当面の応急的な手当を行い、命が助かる可能性を高めることができるようにするのが応急救護訓練の目的。

阪神・淡路大震災において、震災によって救助が必要になった人のうち、約85%を一般の住民が救出したという推計(神戸市)もあり、多くの人が近隣住民によって救出されていることから、地域社会の対応力の重要性が認識された。

つまり、大規模災害時に初期対応できるのは、私たち自身である。

今回は、尊い命を救うという最大の目標を達成するため



目標物を狙って消火訓練を行う参加者

○ 初期消火訓練

火災は、いったん燃え広がると消火不可能。火を出した場合は家族・地域で初期のうちには消し止めることが必須。

特に大地震災害時は、消防車の救援が見込めないことも想定され、あちこちで火災が発生、広域に延焼。多くの財産が失われることが想定される。火災さえ迫ってこなければ、

AEDの取扱を中心に、骨折手当、心肺蘇生法の訓練を行った。

ば、瓦礫や建物の下から救出可能な人も少なくない。

神戸大学教授等の調査においても、住民による消火活動の結果、特に火元で焼け止まった火災の方が、消火活動率が高くなっている。このことから、いかに住民による初期消火活動が重要であるかということが解る。

基本は、火災が広がらないよう、近隣住民が協力して迅速に初期消火に取り組むこと。しかし、地域住民の一部だけでなく、できるだけ広範な住民層が実践的に初期消火訓練に係わり、消火技術を習熟することが必要になる。

今回は、水消火器を利用した基本的な消火訓練とあわせて、競技形式でバケツリレーを行った。連携という点においてはどの訓練よりも有意義で熱の入った訓練であったが、実際の災害時となると、



バケツリレーで競い合う参加者

○ 消火訓練

防災訓練の最後を飾って、一斉放水による消火訓練を行った。災害時には、消防団だけでなく、地域住民が学校に備えてある消火ポンプを使用するよう訓練しておくのは重要である。

今回は、分回車両のほか、千秋中学校に配置してある

1家に1個有るか無いかのバケツよりも、どの家にも最低1個はあるゴミ箱を利用することになりそうだ。



災対ポンプを地元の佐野自主防炎会が、軽可搬ポンプを婦人消防クラブがそれぞれ操作し、水しぶきを上げた。

女性学級社会見学

防災の勉強も

10月15日、公民館女性学級の社会見学で名古屋港管理組合所有の港務艇「ぼーとおぶなごや2」に乗船し、普段見ることのない海上から名古屋港を体験した。

この港務艇は一般が利用できる機会は殆ど無く、参加者も初めて耳にする名前。秋晴れの中、ポートビルの横に接岸された全長34.5mの真っ白なクルーザーに乗船。船内は



外国からの要人視察にも対応しているだけあって豪華で清潔。国際会議もできるような設備が揃っている。

速力22ノットで出航し、国内初のコンテナターミナルを始め、生き生きとした日本一の貿易港を見学した。

港務艇は、その名のとおり港湾の管理・運営や施設の維持などに関する業務を行うのは勿論、災害時にも大活躍できる。火災の消火活動や荷物運搬は勿論、海水を真水に変

える装置も設置されており、災害対策本部の役割も担うことができるとのこと。
名古屋港の大きさと災害時まで想定された体制作りに驚き、今後の地域づくりを考えさせられた社会見学であった。

「食まるファイブ」が千秋小へやってきた!

10月25日(月)、千秋小学校で、愛知県食育推進事業の食育劇「食まるファイブ」メタボ軍をやっつけろ」が上演されました。子どもたちは栄養素を五つのキャラクターにした、ユーモアあふれる劇を見ながら、バランスのよい食事について学習しました。
参観された保護者からは、「キャラクターが子どもたちに親しみやすく、栄養バランスについて気づかせるよい機会になった。」という声が多くありました。

その後の学校保健委員会で「朝食を見直そう」をテーマに、児童のエネルギー源としての朝食について話し合いがされました。



第6回千秋音楽・芸能祭

心温まるひとときを、ご一緒にお楽しみください。
日時/12月5日(日)

12時〜

15時30分

会場

千秋小学校

問い合わせ

村田まで

(77-2144)

